

株式会社ブリヂストン  
グローバル広報部門  
東京都中央区京橋 3 丁目 1 番 1 号  
〒104-8340  
電話 : 03-6836-3333  
FAX : 03-6836-3184  
<https://www.bridgestone.co.jp>

2025 年 12 月 23 日

## 第 15 回ブリヂストン グループ・グローバル TQM 大会を開催 グループ会社との共創による価値創造の取り組みなどを表彰

継続的改善とイノベーションを通じて、当社使命「最高の品質で社会に貢献」を目指す

株式会社ブリヂストン（以下、ブリヂストン）は、「第 15 回ブリヂストン グループ・グローバル TQM<sup>※1</sup> 大会」を開催しました。本大会は、当社の使命である「最高の品質で社会に貢献」のもと、世界各拠点の改善事例を共有し、グローバルで学び合うことによって、価値創造の強化を目的としています。TQM 活動は、1960 年代から続く当社の品質経営活動を代表するものであり、「ブリヂストン独自のデミング・プラン」と、その基本思想である「良い品質の製品は、良い体質の会社から生まれる」に基づき、グローバルの様々な職場で品質へのこだわりを大切に、継続的改善とイノベーションを促進する活動です。



表彰式の様子

2025 年は、世界各地域・事業所から提出された 2,000 件を超える改善事例の中から、16 件が優秀な取り組みとして発表され、最優秀賞にあたるグランプリには、2 つの事例が選出されました。

1 つ目は、「人に合わせる工程作りへの挑戦」をテーマした事例です。商品力向上に不可欠な材料試験において、グループ会社であるブリヂストンチャレンジ株式会社<sup>※2</sup>（以下、BSCH）との共創を通じて、お互いの強みを活かした業務変革に取り組み、DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）への理解を深めるとともに、新たな

価値を創出しました。2つ目は、「日本で生産し、世界で勝つ」をテーマに、グローバルのモノづくりの中核・輸出拠点として多品種小ロット生産体制を強化した栃木工場の事例です。以下では、1つ目の事例である「人に合わせる工程作りへの挑戦」をご紹介します。「Bridgestone E8 Commitment」<sup>※3</sup>で掲げる「Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする」を体現する活動です。

## ■ 「人に合わせる工程作りへの挑戦」

### Bridgestone Innovation Park<sup>※4</sup>における材料試験課と BSCH による価値共創の取り組み

材料試験課では、ゴム・原材料の試験を通じて「断トツ商品」<sup>※5</sup>開発を支えています。「人に合わせる工程作りへの挑戦」をテーマに、BSCHとの価値共創に取り組んでいます。

#### 【背景・目的】

材料試験課は、定型業務の質を維持しつつ、より専門性の高い業務へリソースをシフトすることで、高性能・高付加価値製品の開発を行うスタッフのチャレンジを支えたいという想いを持っていました。BSCHは、知的障がいのある社員が多く在籍し、これまで清掃や印刷など、さまざまな業務で当社を支えてきましたが、タイヤメーカーとしてゴムに関わる業務に携わることを希望していました。こうしたお互いの想いを背景に、多様な人財が活躍できる環境づくりと業務の効率化・標準化を目指し、材料試験課と BSCHとの共創が 2022 年に始まりました。

#### 【課題・取組内容】

材料試験課の定型業務は職人技や経験則に頼る部分が多く、属人化が課題となっていました。また、BSCH 社員は、意思決定や環境変化への適応に配慮が必要な方もおり、材料試験課の従来の属人的なやり方では、業務の遂行が難しく、両者の関係構築も困難でした。

そこで、他社事例の学習による意識変革や、定型業務見直しを、現物現場で協力して進めることで、「誰でもできる」、「誰でもやりやすい」、「誰でも間違わない」工程づくりを実現しました。作業手順の数値化や治具（作業補助具）の開発、業務プロセスの標準化などを行い、誰でも材料試験課の業務に参画しやすい環境を整備しました。その結果、BSCH 社員は徐々に成功体験を積み重ね、当初は困難と思われた定型業務も委託できるようになり、材料試験課との信頼関係も構築していくことができました。

#### 【成果】

- ・従来、職人技や経験則に頼り、属人化されていた材料試験課の業務を定型業務化
- ・その定型業務の委託により材料試験課で 9 名の BSCH 社員が活躍、技能員複数名分の業務負担を軽減
- ・材料試験課の技能員は高度な技術を要する配合や性能試験など、より付加価値の高い業務への移行を実現
- ・誰でも作業しやすい治具の新規開発や業務標準の見直しによる業務効率化・安全性向上
- ・材料試験課の技能員が定型業務に要する時間も、属人性の高い従来手法と比べて短縮に成功
- ・ゴムに関わる材料試験への参画による BSCH 社員のモチベーション向上と全社員の DE&I 意識の深化
- ・障がい者雇用の新たな可能性を実証し、共に働く社員同士、一人一人の成長と幸福を実感

#### 【今後の展望】

今回の取り組みを通じて得られた知見や改善事例は、国内外の工場・試験室にも展開中です。今後も「人に合わせた工程づくり」を進化させ、サステナブルな社会価値・顧客価値の創出に取り組んでまいります。



開発した治具（写真中央下）を使用して BSCH 社員が試験を実施



材料試験課による発表の様子

ブリヂストンは、今後も現物現場を大切にした継続的改善とイノベーションを推進し、経営・業務品質の向上を追求することで、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」で掲げる 8 つの価値（Energy, Ecology, Efficiency, Extension, Economy, Emotion, Ease, Empowerment）を、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

※1 Total Quality Management の略

※2 当社では 2004 年に障がい者雇用を目的とした特例子会社「[ブリヂストンチャレンジ株式会社](#)」を設立し、創立 20 周年を迎えております。長年にわたり障がい者雇用を積極的に推進しています。

※3 「Bridgestone E8 Commitment」（ブリヂストンイーエイトコミットメント）

ブリヂストンは、「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「[Bridgestone E8 Commitment](#)」を制定しました。これを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる 8 つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

※4 [2022 年 4 月 21 日 イノベーションを通じて新たな価値を創造するグローバル拠点「Bridgestone Innovation Park」が本格稼働](#)

※5 「断トツ」とは企業としての目標を指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

<報道関係> グローバル広報オペレーション部門 TEL：03-6836-3333

<お客様> お客様相談室 TEL：0120-39-2936